

第6回 楽しさ森×2(もいもい)調査結果

代表 所在地	小川町1丁目402番1	調査班	平成24年 秋冬 班	調査員 全員の 氏名	第1次雑木林調査隊 石井・伊藤・桜井・白井・広島・水村・宮 崎・吉田・和田		
		サポート		森のカルテ作成準備委員会 椎名豊勝委員長・山田真久委員			

調査 日時	平成24年12月1日(土)9時15分 ～11時20分	天気	くもりの ち 雨	風	ほとんどなし	温度	13℃ (湿度51%)
----------	-------------------------------	----	-------------	---	--------	----	----------------

1 野鳥の観察をしましょう。

(1) 森に一番最初に入る時に撮影しましょう。

- ① 鳥は繊細なので、森の調査の物音がすると逃げてしまいます。一番最初の調査でトライしてみましょう。
- ② 鳥を見つけても声を出さずにジェスチャーで調査隊の仲間に伝えましょう。
- ③ あまり近寄らずに、遠くから双眼鏡で観察しましょう。
- ④ ICレコーダーにて録音してみましょう。
- ⑤ 最後に写真撮影をトライしましょう。



静かに近づいてみました。

(2) 観察のポイント

- ① 鳴き声のする方向を探しましょう。
- ② あまり近寄らずに静かにたたずみましょう。
- ③ 鳥の居場所を確認しましょう。
- ④ 単独なのか群れているのかつかいなのか確認しましょう。
- ⑤ 鳥ものさしで大きさを確認しましょう。
(小→スズメ・中→ハト・大→カラス)
- ⑥ 鳥の鳴き方の聞きなしてきましょう。
ウグイス→法、法華経
ホトギス→特許許可局
コジュケイ→母ちゃん怖い



群れていたオナガ。大きさはスズメとハトの間ぐらい。オナガはカラスの仲間で雑食です。



雑木の森の小枝に止まったオナガ。「ギャーギャー」と鳴いていました。



ヒサカキという常緑樹。鳥たちがこの実を食べていました。



キジバトは「クワグッククウ」と鳴いていました。雑木の木の実や草の種でも食べていたのでしょうか。

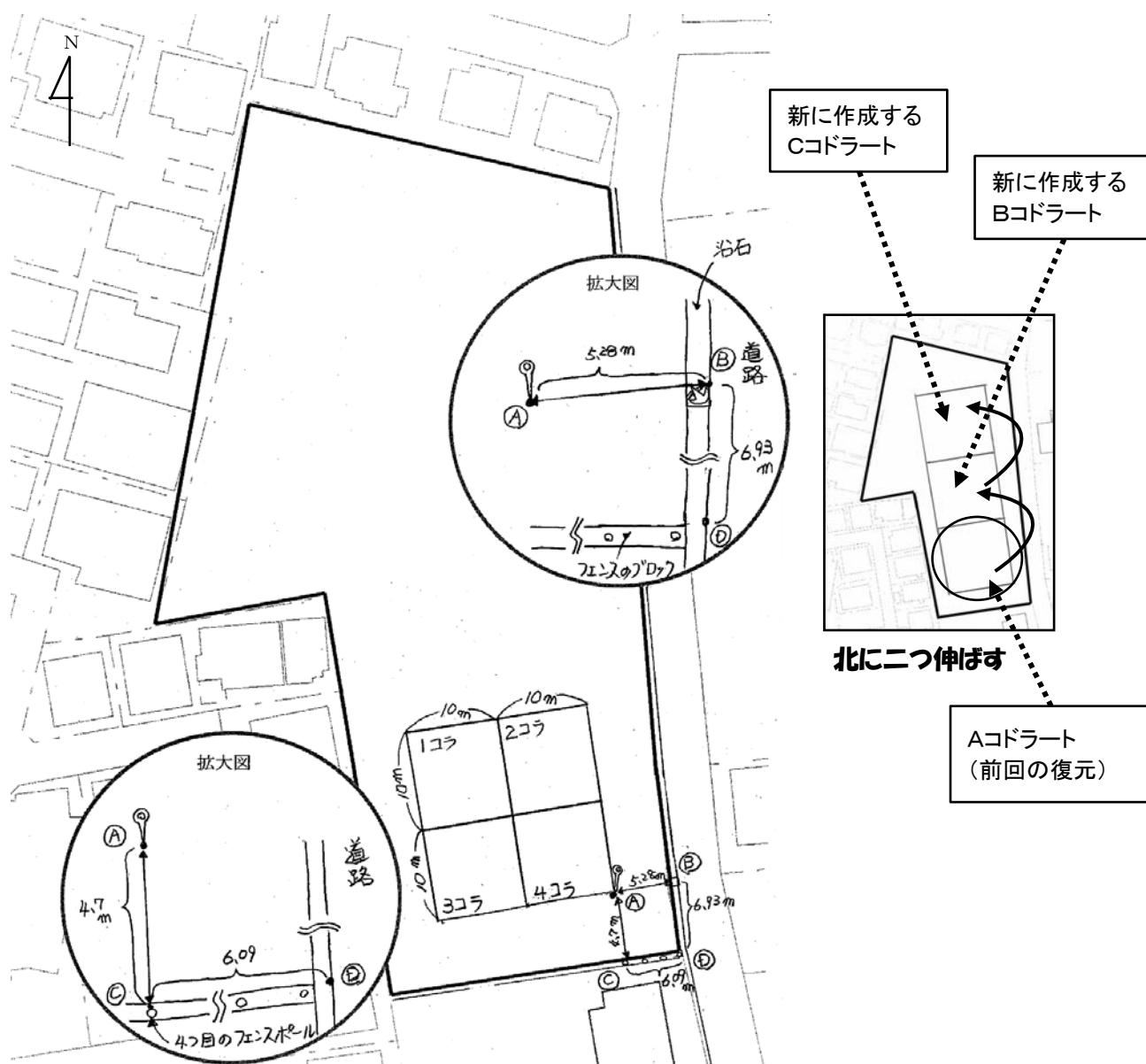
- 写真撮影はできませんでしたが、他にアカゲラ、ヒヨドリ、ムクドリらしい鳴き声が観察されました。
- 野鳥が好む木の実としては、イロハモミジ、エノキ、コムラサキ、センリョウ、ツルウメモドキ、マユミ、マンリョウ、ムクノキ、ムラサキシキブ、ヤマグワなどがあります。

2 コドラードを設置しましょう。

(1) 前回設置したコドラードを参考に北に2つ伸ばしましょう。

20m四角のコドラードの区域は、方位の南北軸と東西軸に合わせて区域取りします。

- ① 方位磁石で南北軸線を確認し大体の中心線を出します。
- ② 東西方向に10mずつ張り出して4地点を決定します。
- ③ 4地点にローフ杭を差し込みます。
- ④ 4地点それぞれについて、近くの固定した構造物や大きな木等からの距離を測定します。
- ⑤ 4地点のローフ杭を囲むようにススランテープを張ります。
- ⑥ 東西軸の中心線も出して、20m四角のコドラードを4分割して、調査をやすくしましょう。

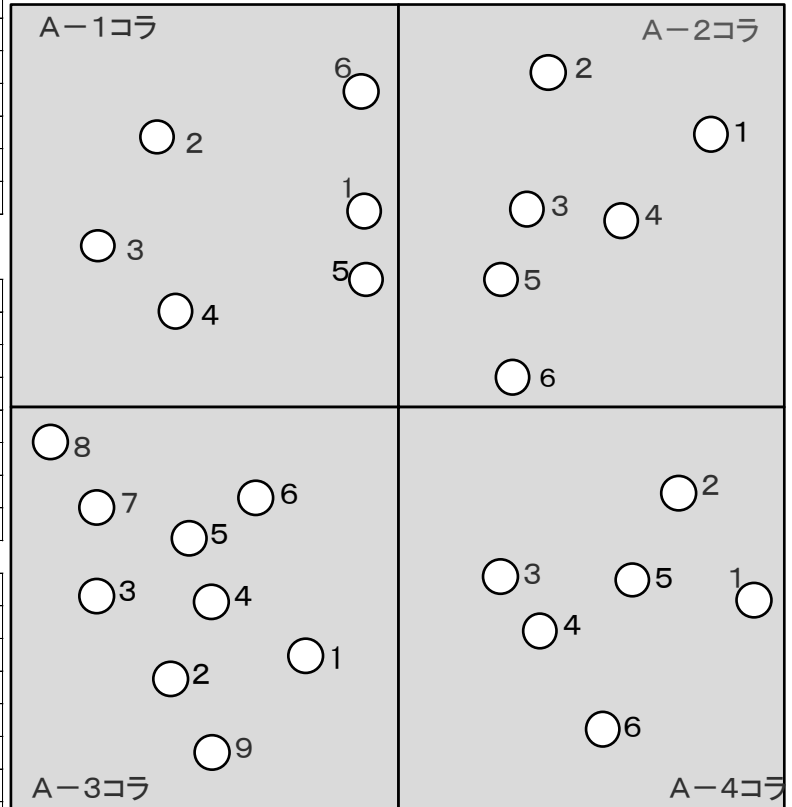


3 一番多そうな樹木の調査を始めましょう。

(1) 前回のコドラートとの変化を調べましょう。

毎木調査(落葉)					
A1 コラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	ケヤキ	0.3	8	
	2	ケヤキ	0.6	12	
	3	ケヤキ	1.3	13	
	4	ケヤキ	1.4	28	
	5	ケヤキ	0.2	4	
	6	ケヤキ	0.5	12	

(前回調査)



[Aコドラート前回調査日:平成24年1月14日(土)第2回楽しさ森×2調査]

毎木調査(落葉)					
A2 コラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	コナラ	1.4	22	伐採
	2	コナラ	0.9	25	
	3	ケヤキ	0.3	9	
	4	ケヤキ	0.2	4	
	5	ケヤキ	0.3	7	
	6	クヌギ	1.4	28	
7	サクラ			萌芽更新	

毎木調査(落葉)					
A3 コラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	ケヤキ	1.6	20	
	2	ケヤキ	0.3	5.5	
	3	ケヤキ	0.4	11	
	4	ケヤキ	0.4	9	
	5	ケヤキ	0.4	9.5	
	6	ケヤキ	1.4	21	
	7	ケヤキ	0.2	7.3	
8	ケヤキ	0.2	7		

毎木調査(常緑) ~冬でも葉がついてる木

A3 コラ					
地図No	樹種	幹周り	高さ	備考	
9	オリーブ	0.1	3	喪失	

毎木調査(落葉)					
A4 コラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	コナラ	1.2	17	
	2	コナラ	0.5	9.5	
	3	コナラ	0.7	15	
	4	ケヤキ	0.2	8	
	5	ケヤキ	1.7	23	
	6	ケヤキ	0.5	9	
7	コ/テガシワ	-	1.5	発生	

前回調査結果

ケヤキ 20本(約75%)

コナラ 5本(約20%)

クヌギ 1本(約5%)

【広葉樹の記載例】

○ …落葉広葉樹

● …常緑広葉樹

【針葉樹の記載例】

△ …落葉針葉樹

▲ …常緑針葉樹

【株立ちの樹木の記載例】

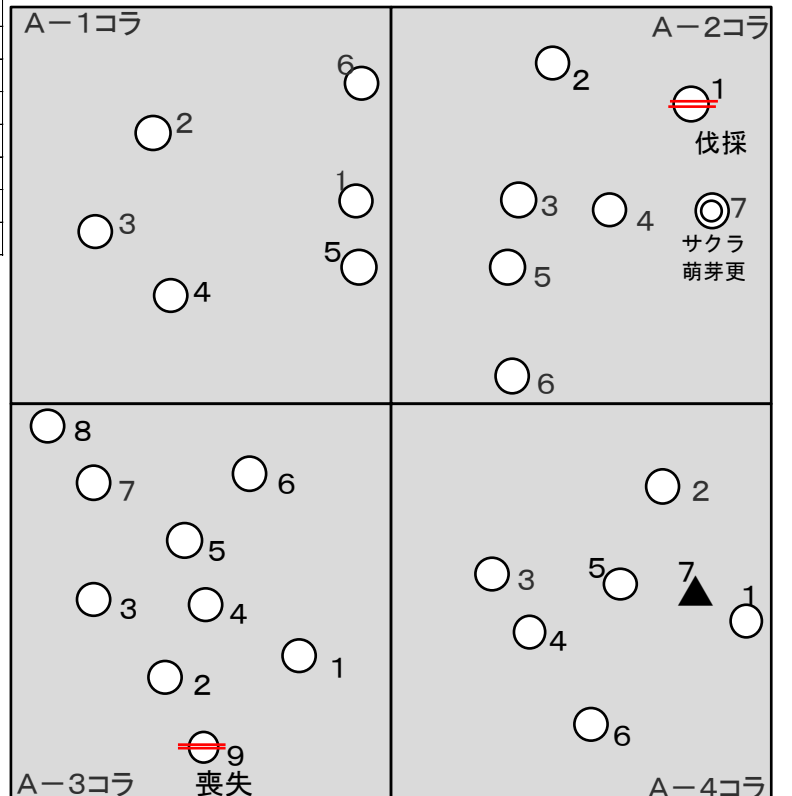
幹が三本のコナラであれば

☺といった表記になります。

【萌芽更新の記載例】

サクラが萌芽更新している場合は◎といった表記になります。

(今回調査)



[Aコドラート 今回調査日:平成24年12月1日(土)]

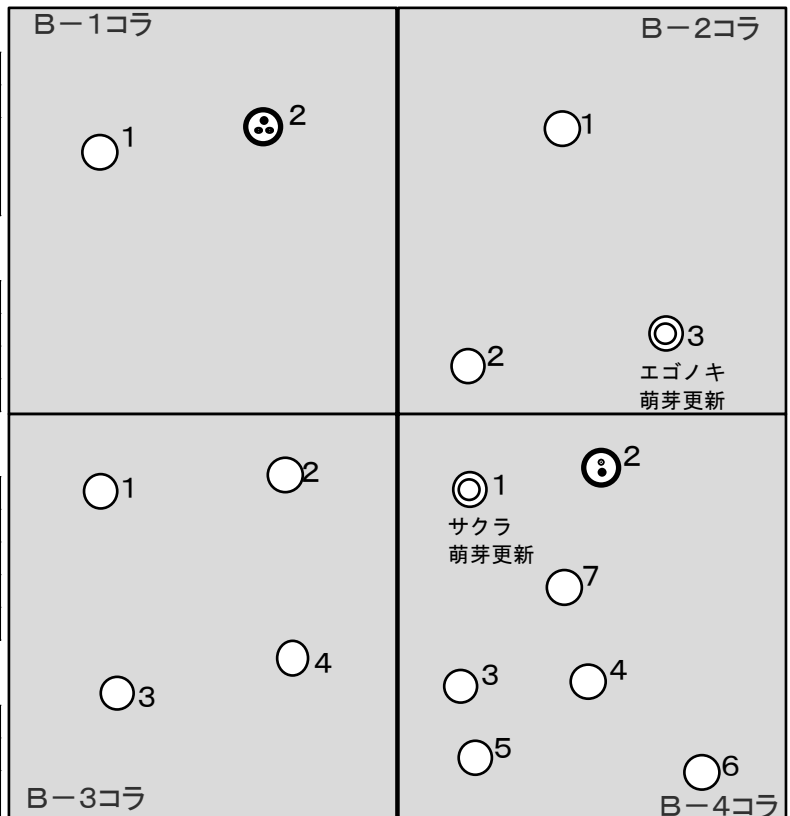
(2) 追加分のコドラートの毎木調査をしましょう。

毎木調査(落葉)					
B 1 コ ラ	地図No	樹種	幹周	高さ	備考
	1	コナラ	1	16	
	2	コナラ	1.7	25	幹0.9 幹0.8 幹0.8

毎木調査(落葉)					
B 2 コ ラ	地図No	樹種	幹周	高さ	備考
	1	コナラ	0.6	25	
	2	エゴノキ	0.4	7	
3	エゴノキ	0.3		萌芽	

毎木調査(落葉)					
B 3 コ ラ	地図No	樹種	幹周	高さ	備考
	1	エゴノキ	0.4	7	
	2	コナラ	2.2	30	
	3	ケヤキ	0.5	6	
4	ケヤキ	0.7	13		

毎木調査(落葉)					
B 4 コ ラ	地図No	樹種	幹周	高さ	備考
	1	サクラ	1.8		萌芽
	2	コナラ	1.1	20	幹0.9 幹0.7
	3	ケヤキ	0.2	10	
	4	コナラ	1.5	23	
	5	クヌギ	1.2	25	
	6	コナラ	1.4	22	
7	コナラ	0.8	20	根腐食	



【Bコドラート 調査日:平成24年12月1日(土)】

(3) 3つのコドラートの毎木調査の結果をまとめてみましょう。
※当日降雨のためCコドラートは設置できませんでした。

A-1

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
6					

A-2

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
3	1	1	1		

A-3

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
8					

A-4

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
3		3			

B-1

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
		2			

B-2

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
		1		2	

B-3

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
2		1		1	

B-4

落葉					
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他
1	1	4	1		

A1からB4までの合計

落葉						
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他	合計
23	2	12	2	3	0	42
55%	5%	29%	5%	7%	0%	100%

常緑 (A4コラのみ)						
コ/テガシワ					その他	合計
1					0	1
100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

A1からB4までの総合計

落葉						常緑樹		総合計
ケヤキ	クヌギ	コナラ	サクラ	エゴノキ	その他	コ/テガシワ	その他	
23	2	12	2	3	0	1	0	43
53%	5%	28%	5%	7%	0%	2%	0%	100%

1番 ケヤキ 23本 (53%)

2番 コナラ 12本 (28%)

3番 エゴノキ 3本 (7%)



コドロード作成中



コドロード完成



虫の視線で森を見ってみました。



ヤマザクラの萌芽更新



野鳥が食べてたヒサカキの実

4 森のデザインを始めましょう。

(1) 東西及び南北の断面図を作成する手順を確認しましょう。

手順は、二つあります。一つは実際に見た状況を記載する方法です。

A 実際に見た状況を記載する方法

- ①地図に南北及び東西の線形を磁石で記載しましょう。(できれば調査済みのコドラート含む形)
- ②遠景が把握できないところは、近場からの想像で記載しましょう。
- ③高木層・亜高木層・低木層を意識しながら断面図を記載しましょう。
- ④林辺部と林床部を意識しながら記載しましょう。
- ⑤東西が描けたら南北もトライしてみましょう。

もう一つは、コドラート樹木の配置平面図から断面図を展開して作成する方法です。

B コドラート樹木の配置平面図から断面図を展開する方法

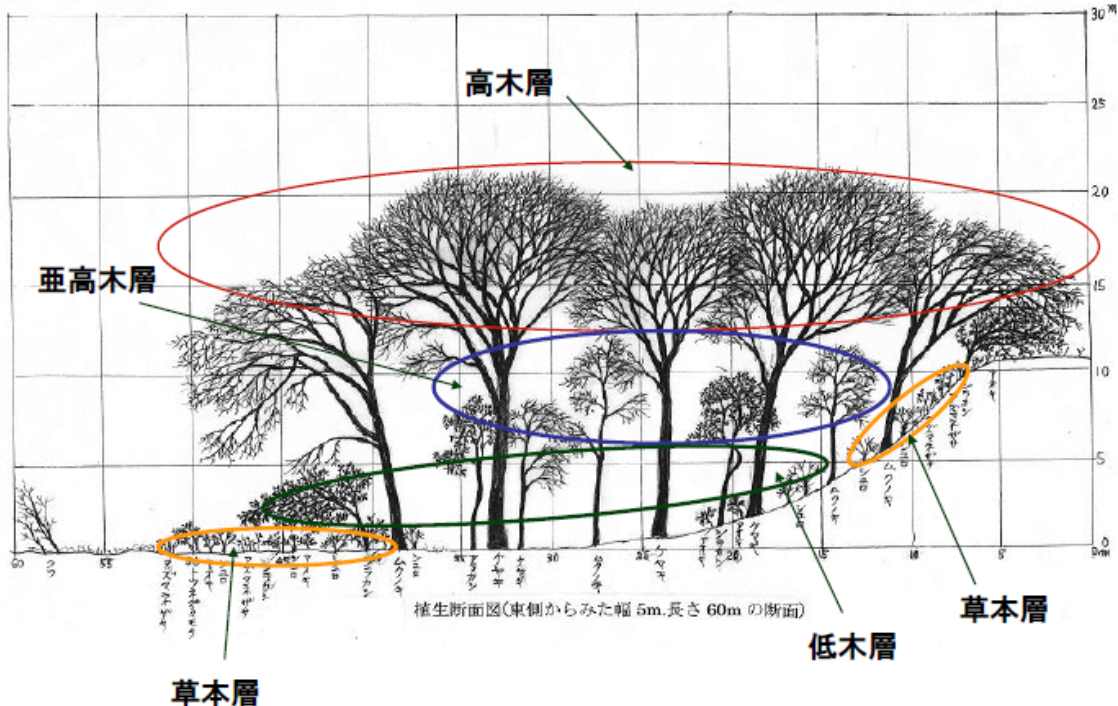
- ①コドラート平面図の下に同じ幅の断面図キャンパスを描きましょう。X軸が地上の樹木根の位置(メートル)、Y軸が樹木高(メートル)を表します。
- ②コドラート平面図からX軸に、全ての樹木根位置を落とし、調査結果の樹木高まで線を引きましょう。(9ページのステップ1参照)
- ③向かって手前にある樹木から常緑樹(広葉・針葉)・落葉樹(広葉・針葉)の識別をして簡易な樹形を記載しましょう。(9ページのステップ2参照)
- ④奥の樹形を前の樹形に隠れるように描いていくことで立体的に見えます。(9ページのステップ3参照)
- ⑤東西が描けたら南北もトライしてみましょう。

○参考情報1

雑木林の

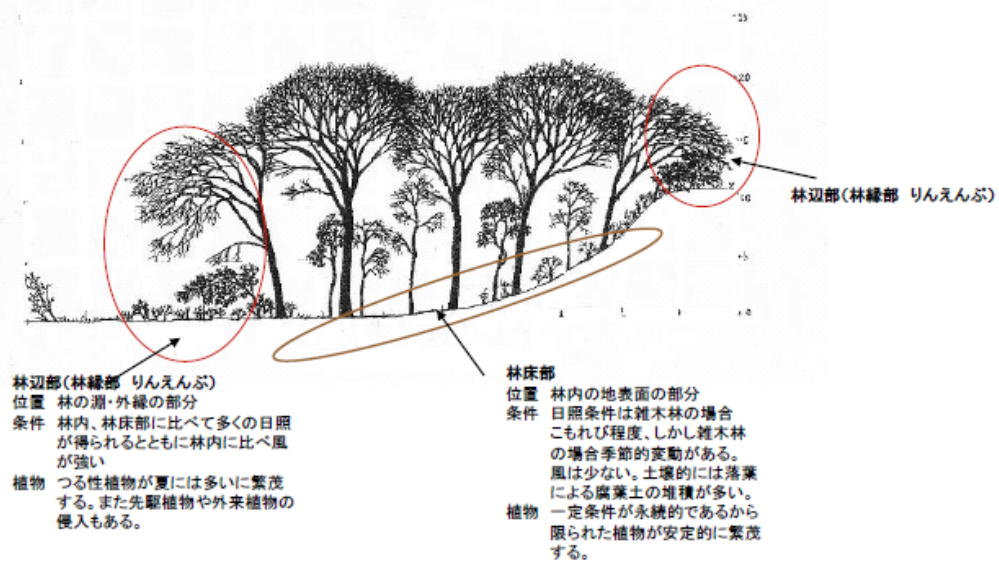
高木層・亜高木層・低木層・草本層

構成分類・絶対高さ分類



○参考情報2

雑木林の 林辺部(りんぺんぶ)・林床部(りんしょうぶ)



○参考情報3

【落葉樹と常緑樹の例】

(落葉針葉樹)

高木:イチョウ・メタセコイヤ・ラクウショウなど

(常緑針葉樹)

高木:アカマツ・サワラ・スギ・ヒノキ・ヒバなど

(落葉広葉樹)

高木:エゴノキ・エノキ・クスギ・ケヤキ・コナラ・サクラなど

中木:トサミズキ・マユミ・マンサク・ムクゲ・ムラサキシキブなど

(常緑広葉樹)

高木:アラカシ・クスノキ・シラカシ・スダジイ・モチノキなど

中木:カナメモチ・キンモクセイ・マサキ・モッコク・ヒイラギなど

○参考情報4

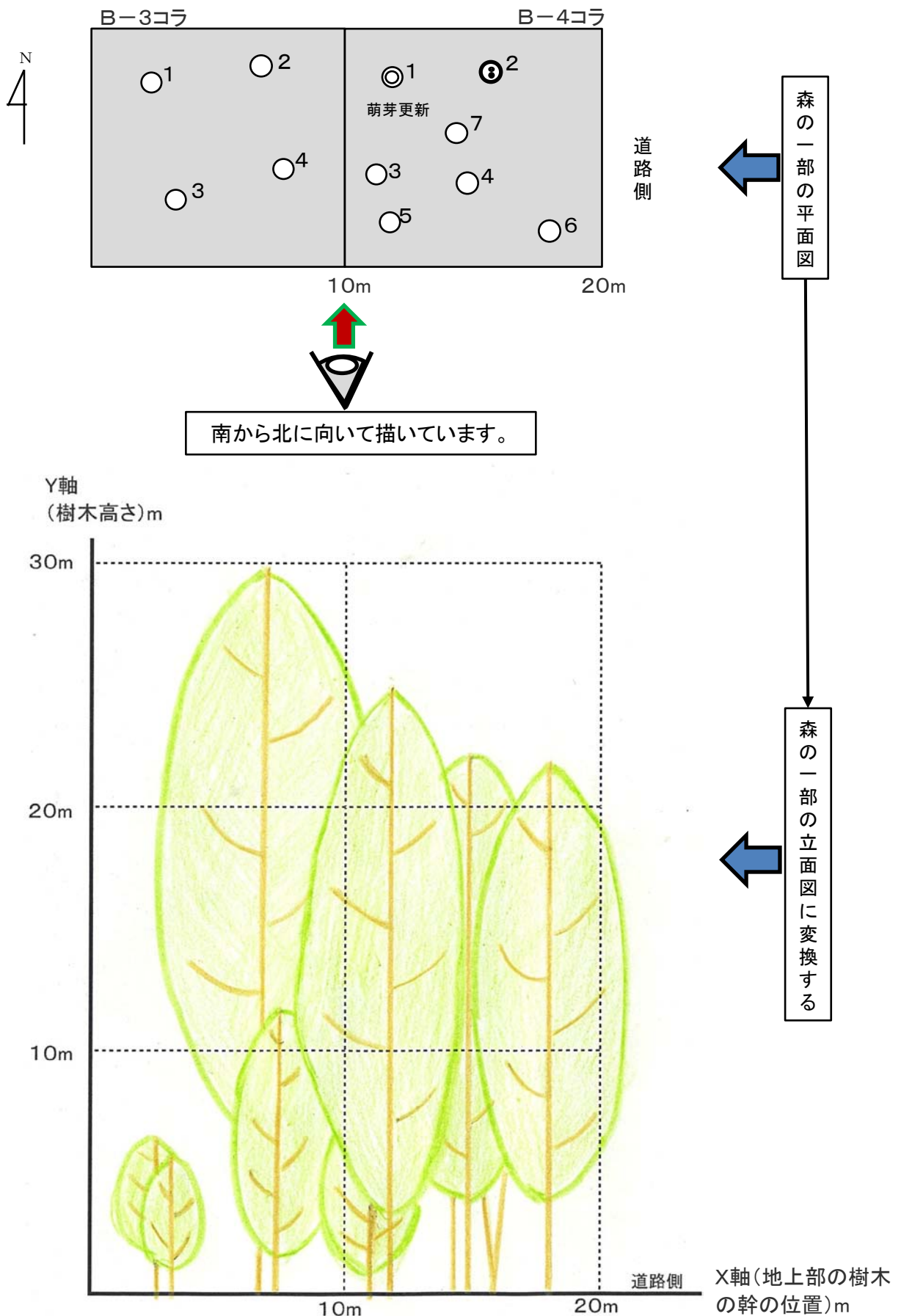
◇森のカルテでは樹木を次のように簡易的に表すこともあります。

- ①広葉樹→落葉 広葉樹 は  常緑 広葉樹 は  と表記します。
- ②針葉樹→落葉 針葉樹 は  常緑 針葉樹 は  と表記します。

(2) 実際に東西の断面図を記載しましょう。

Bコードラート樹木の配置平面図から断面図を展開する方法を作成してみました。

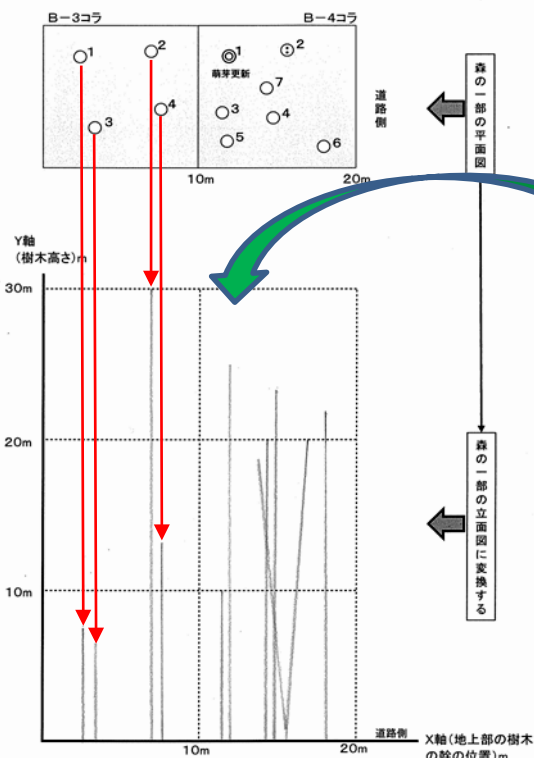
①いきなり結果で申し訳ありません。



②作成過程はこんな感じです。

(2) 実際に東西の断面図を記載しましょう。

ステップ1



調査結果表

毎木調査(落葉)

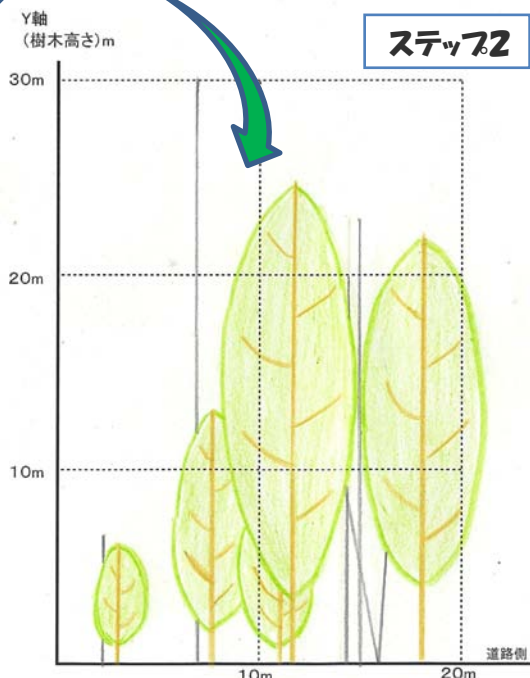
B 3 コ ラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	エゴノキ	0.4	7	
	2	コナラ	2.2	30	
	3	ケヤキ	0.5	6	
	4	ケヤキ	0.7	13	

毎木調査(落葉)

B 4 コ ラ	地図No	樹種	幹周り	高さ	備考
	1	サクラ	1.8		萌芽
	2	コナラ	1.1	20	幹周0.9 幹周0.7
	3	ケヤキ	0.2	10	
	4	コナラ	1.5	23	
	5	クヌギ	1.2	25	
	6	コナラ	1.4	22	
7	コナラ	0.8	20	根腐食	

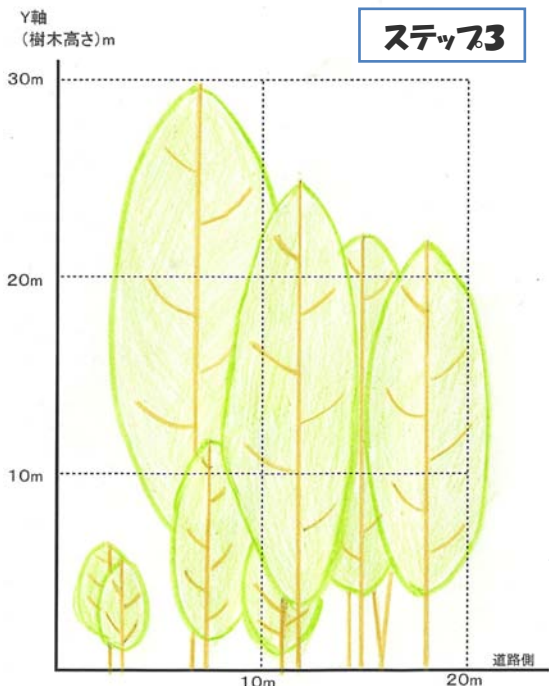
①調査結果表から樹木高を調べて、樹木の根の位置から該当する高さまで幹を鉛筆で下書きしてみましょう。

ステップ2



②手前の木から描きます。

ステップ3



③全ての木を描いて完成。

平面図から立面図を作成する方法は、実際の描写とは若干の違いがありますが、森の構成を見るうえでは簡易な方法です。

5 雑木林の写真を撮影しましょう。

(1) 高い場所から撮影しましょう。

① ガーデンハイツ小平 3号棟

※南側立川通り南側徒歩5分、高層マンション、管理人さんに撮影許可をいただきました。

①



(2) 横から撮影しましょう。

② 北側

薬草園東通りから撮影

○ 南側

中島通りから撮影(撮影できませんでした。)

③ 東側

薬草園東通りから撮影

○ 西側

撮影ができない箇所です



① 近隣の
マンションか
ら撮影

